

手話言語法ニュース

2015年9月11日 No.23

事務局:一般財団法人全日本ろうあ連盟 〒162-0801 新宿区山吹町130 SKビル8F

TEL: 03-3268-8847/FAX: 03-3267-3445

手話言語法制定推進運動本部:委員長 石野富志三郎 事務局 久松三二・岡野美也子

条例グループ:責任者 小中栄一・田門浩・川根紀夫

意見書採択請願運動グループ:責任者 長谷川芳弘・中橋道紀・渡辺正夫

教材作りグループ:責任者 西滝憲彦・大杉豊・石橋大吾

8/27-28 IN TOKYO☆手話言語法制定を求める全国集会 皆が東京に集結!

8月27日から28日にかけて、全日本ろうあ連盟は「手話言語法制定を求める全国集会」を開催し、全国からたくさんの加盟団体等の代表者が東京に集結しました。

27日は国会議員要請行動に先立ち、参議院議員会館講堂で事前説明会を行い、安倍昭恵首相夫人より激励の挨拶をいただきました。



安倍昭恵首相夫人

説明会後、加盟団体等の代表者は各地域選出の国会議員と面会するため衆議院議員会館、参議院議員会館へ、連盟理事は中央交渉へ向かいました。

◆中央省庁及び政党へ働きかけ◆

①内閣府と自民党

連盟理事長の石野は山口県ろうあ連盟の代表者と共に自民党の高村正彦副総裁を訪問しました。高村副総裁からは、法律はその分野に長けた議員が納得して作る形がよい、中心に動く人がいれば援護できると話されました。その後、石野は鳥取県聴覚障害者協会の代表者と共に内閣府の赤澤亮正副大臣を訪問しました。



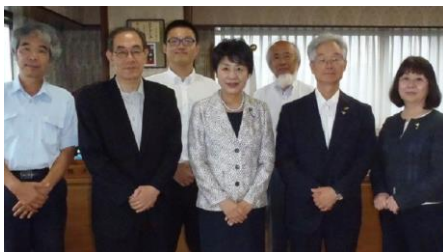
内閣府・赤澤亮正副大臣(写真中央)と固い握手を交わす

赤澤副大臣からは、法律を作るのは時間がかかる、理解のある議員を多く集め、長期間対応できるような状況を作ることが大切だと助言をいただきました。

②法務省と文部科学省

連盟副理事長の小中は文部科学省初等中等教育局の小松親次郎局長を訪問し法制定を要請しました。その後、静岡県聴覚障害者協会の代表者と共に法務省の上川陽子法務大臣を訪問しました。

上川法務大臣からは、手話が言語として使えることは大切だと考えている、手話言語法の制定のためには、議員連盟をつくり進めるのが一番良い、手話言語法という単独法でも目的が明確であれば大丈夫、との力強いアドバイスをいただきました。



上川陽子法務大臣(写真中央)と共に

③厚生労働省

連盟副理事長の長谷川は厚生労働省障害保健福祉部企画課自立支援振興室の道躰正成室長、時末大揮情報支援専門官を訪問しました。

また、岡山県聴覚障害者福祉協会の代表者は厚生労働省の橋本岳政務官を訪問しました。

◆成果報告会◆

17時より参議院議員会館講堂で議員要請行動の成果報告会を行いました。

要請行動では加盟団体等の代表者が154名の国会議員本人と面会し、手話言語法制定を要望しました。



その様子を各都道府県協会の代表者が報告しました。代表者からは、法を作ることに賛同する議員が多かったこと、また複数の議員より法制定には議員連盟をつくるのが大切と説明を受けた、との報告がありました。

◆28日全体集会◆

28日は10時から全体集会を開催し、日本財団笹川陽平会長、日本障害フォーラム幹事会藤井克徳議長、鳥取県平井伸治知事が挨拶されました。

27日の議員要請行動で皆が議員へ呼びかけた効果もあり、当日はたくさんの議員が来場され、閉会時間ぎりぎりまで挨拶をいただきました。



左から…日本財団笹川陽平会長、日本障害フォーラム幹事会藤井克徳議長、鳥取県平井伸治知事

◆パレード2015 夏の陣◆

お昼に開始した「手話言語法制定を求めるパレード2015 夏の陣」では、2つの隊列を作り永田町周辺を歩く予定でしたが、予想以上にたくさんの参加者が集い、警察の指示で急遽3つの隊列に分かれて日比谷公園を出発しました。



パレードの先頭を歩く団体役員ら

国会議事堂の衆議院議員面会所及び参議院議員面会所前では各隊列の代表がアピール文を読み上げ、各政党の代表議員より応援メッセージをいただきました。



衆議院議員面会所前の様子

連盟作成の『手話は言語！手話言語法の制定を！』と書かれたうちわを持ち、各官公庁、国会議事堂の前などを1時間かけて歩きアピールをしました。

全国集会に来場された国会議員

(政党、衆・参別／五十音順／敬称略)

①議員本人参加

【自民党】

大隈和英
加藤鮎子
門博文
佐田玄一郎
鈴木憲和
田所嘉徳
田畑裕明
津島淳
中谷真一
中村裕之
丹羽雄哉
原田義昭
藤井比早之
藤丸敏
堀内詔子
三ツ林 裕巳
宮川典子
盛山正仁
伊達忠一
大野泰正
野上浩太郎

【公明党】

輿水恵一
高木美智代
山本博司
【民主党】
大島章宏
かねこ恵美
川端達夫
小宮山泰子
長妻 昭
中根康浩
福山哲郎
【次世代の党】
浜田和幸
【維新の党】
村岡敏英
川田龍平

②秘書のみ代理参加

【自民党】

上野賢一郎
岡下昌平
鬼木 誠
尾身朝子
梶山弘志
亀岡健民
小池百合子
小林史明
櫻田義孝
左藤 章
長尾 敬
中川 郁子
原田憲治
福田達夫
福田峰之
細田博之
衛藤晟一
舞立昇治
丸川珠代
赤石清美
大野泰正
末松信介

【公明党】

伊佐進一
【民主党】
阿部知子
佐々木隆博
高木義明
中島克仁
横路孝弘
増子輝彦
森本真治
【維新の党】
石関貴史



≪運動本部委員を派遣します！≫

手話言語法や手話言語条例に関する学習会、条例制定に向けた運動を後押しするため、運動本部から委員を派遣します。連盟加盟団体主催の行事が派遣対象となります。

学習会の講師依頼、行政に対する交渉への同行等、当運動本部までお問い合わせください。

【問合せ先】全日本ろうあ連盟 本部事務所

TEL：03-3268-8847 FAX：03-3267-3445

E-mail：info@jfd.or.jp



意見書採択 9月議会で、北海道100%

最も自治体数の多い北海道が、9月9日の定例議会で念願の意見書採択100%を達成しました。

北海道ろうあ連盟 蠣崎日出雄理事長より

2年近くに及ぶ取組が結実しほっとしている。

どんな困難な状況にあっても諦めない気持ちを持ち続けたことが良かった。これを機に、残りの10議会（全国）も100%達成を目指し、手話言語法制定へつながることを期待したい。



陸別町議会宮川寛議長（中央左）、陸別町野尻秀隆町長（中央右）と共に完全採択を喜び合う北海道ろうあ連盟代表者

意見書採択追加情報

【北海道】

陸別町

【鹿児島】

十島村

【沖縄】

竹富町
粟国村

採択自治体 / 自治体数 (達成%)

都道府県 47/47 (100%)

区 23/23 (100%)

市 785/790 (99.4%)

町 741/745 (99.5%)

村 182/183 (99.5%)

計 1,778/1,788 (99.4%)

100%まで
あと…

10!

2015年9月11日現在 全日本ろうあ連盟本部事務所報告数

意見書マップ HP→<http://www.jfd.or.jp/sgh/map>